

平成26年9月17日

豊田市議会議長 都 築 繁 雄 様

生活社会委員会

委員長 清水 郁夫



委員派遣実施報告書

本委員会は、下記のとおり委員派遣を実施しましたので、委員会条例第37条第1項の規定により提出します。

記

1 日 程 平成26年7月29日（火）～7月31日（木）

2 派 遣 先 及び内容
29日（火）…千葉県千葉市／消防指令業務の共同化・救急無線のデジタル化
30日（水）…栃木県宇都宮市／第2次宇都宮市安全で安心なまちづくり推進計画
31日（木）…宮城県いわき市／東日本大震災を踏まえた水道の取組

3 派遣委員 委員長 清水 郁夫
副委員長 羽根田利明
委員 加茂みきお 稲垣 幸保 佐藤 恵子
庄司 章 鈴木 章 中村 孝浩

4 報 告 書 視察報告書のとおり

5 そ の 他 随 行 者／藤野 晃浩 佐嶋 晃

視察報告書【1】

委員会名	生活社会委員会	委員名	清水 郁夫
視察日時	平成26年7月29日(火) 午後1時30分~午後3時00分		
視察先・概要	千葉県千葉市 人口: 965,264人 面積: 272.08 km ² 特記事項: 政令指定市 ※人口はH26.7.1現在		
視察内容	消防指令業務の共同化・救急無線のデジタル化		
選定理由	<p>平成23年4月1日から、千葉県内の10市1町8一部事務組合が消防指令事務協議会を設置。平成25年4月から、消防指令業務の共同化を目指し、千葉市に「ちば消防共同指令センター」を設置。</p> <p>指令業務の共同化・救急無線のデジタル化をいち早く取り入れ、業務の効率化及び災害情報の一元化が図られている。消防力の強化に大いに役立つ。</p>		
豊田市の現状と課題	<p>愛知県内の消防指令業務の共同化については、現在、具体的な取組には至っていない。</p> <p>既存の消防指令システムは、老朽化と多様化した情報に対する機能不足及び消防救急デジタル無線への対応のため、設備を更新する必要がある。昨年度プロポーザルにて選定された業者との機器リース契約を本年度行う予定となっており、円滑で確実な通信ができるデジタル無線の構築とその制御、操作性にすぐれた高機能消防指令システムの構築が課題となっている。</p>		
視察概要	千葉市の「ちば消防共同指令センター」の現場での説明、一元化及びデジタル化が図られている姿、一元化までの経過を視察する。成果及び問題点や課題を探る。		
評価とその理由	<p>千葉県内の10市1町8一部事務組合が共同化とデジタル化を行い、「ちば消防共同指令センター」を設置したことにより、災害情報の一元化や、車両の活動状況を集約し一体管理ができるようになった。それにより、隣接消防本部への応援出動態勢がとれるようになったことや、無線通信が移動局間で直接できるようになるなど、車両の有効活用により、ひとりでも多くの命を救うことができる。</p> <p>また、経済面においても、23億円の設備費用の削減できたことは評価できる。</p> <p>まとめとして、共同運用による効果は、①災害情報の一元化、また、消防や救急車の広域管理。②消防司令業務の効率化。③119の受信能力の向上。④一元管理により隣接の応援出動態勢の確保。⑤費用削減。</p>		
本市に反映できること	<p>市内の救急無線のデジタル化を行っているが、都市部での整備と山間地での整備について、機能面・予算面を考慮して、効率的な事業展開を参考にすべきである。</p> <p>また山林地域の救急情報、ドクターヘリの活用もさらに取り入れたい。</p>		
その他 (意見・課題など)	近隣市町村に声をかけ、業務の効率化及び災害情報の一元化を図ることが、市民、地域の命を守ることにつながるので、「西三河消防共同指令センター」の設置を目指してほしい。		

視察報告書【2】

委員会名	生活社会委員会	委員名	清水 郁夫
視察日時	平成26年7月30日(水) 午前9時30分～午前11時00分		
視察先・概要	栃木県宇都宮市 人口：516,982人 面積：416.84km ² 特記事項：中核市 ※人口はH26.7.1現在		
視察内容	第2次宇都宮市安全で安心なまちづくり推進計画		
選定理由	宇都宮市では、平成22年3月に策定された本計画で、「全市一斉防犯活動」などによって、地域の自主防犯活動団体、警察、市が一体となって全市をあげて、防犯活動の集中的な実施等を行っている。本年度が、第2次計画の最終年度であり、これまでの成果や課題、次期計画への展望などについて視察することは、第4次豊田市防犯活動行動計画に基づき、事業を推進している本市に有意義であると考えたため。		
豊田市の現状と課題	<p>現在、本市では、豊田市犯罪のないまちづくり条例に基づき策定された第4次豊田市防犯活動行動計画（平成25年度～平成27年度）により、刑法犯認知件数3,800件以下を数値目標に掲げ、自主的な防犯活動の推進、防犯意識の高揚を図るための取組、防犯の視点を取り入れた環境の整備、総合的な行政の対応及び関係機関との連携を重点項目と定め、様々な事業を展開している。</p> <p>課題は、防犯意識は高まっているが、地域間で温度差が生じていることや、刑法犯認知件数の約7割を占める窃盗犯の中でも、とりわけ、自動車関連窃盗に重点的に対応する必要がある。</p>		
視察概要	第2次宇都宮市安全で安心なまちづくり推進計画の基本的な考え方、近年の犯罪情勢、防犯に関する市民の意識、市民を取り巻く社会環境の変化、主な課題の視点から、施策の体系及び取り組むべき施策を探る。		
評価とその理由	<p>第2次計画では、人口千人あたりの警報犯認知件数が平成20年で18.7件、平成25年が11.5件と5年間で7.2件減少させることができた。また、日常生活において犯罪に対する不安を感じる市民の割合についても、平成21年度は68%であったが、平成26年度54.9%と13.1ポイント減少させることに成功しているなど、取組の効果が十分現れていると評価ができる。</p> <p>地域の特性に応じてまちの防犯性を高めるために、自由度のある予算配分を行った点も評価できる。</p> <p>犯罪被害者を支援する取組は実施が難しい部分であるが、その中でも取組が評価できる。</p>		
本市に反映できること	<p>取組後の効果が顕著であり、取組方、市民の巻き込み方など参考にしたい。全市的な取組、体制、情報交換や意見交換の仕組みは取り入れるべきである。</p> <p>宇都宮市では、空き家・空き地における犯罪の防止また環境面を適正に管理するために、空き家・空き地の適正管理に関する条例が制定されている。空き家が犯罪の温床になる危険性もあることから、本市においても導入を検討すべきである。</p>		
その他 (意見・課題など)	防犯カメラ設置支援制度は、宇都宮市では、次期計画に盛り込んでいくところで、豊田市の方が進んでいる制度である。しかし、防犯に関する、考え方や市民の意識、刑法犯認知件数の削減率などでは見習うべき点が多い。		

視察報告書【3】

委員会名	生活社会委員会	委員名	清水 郁夫
視察日時	平成26年7月31日(木) 午前9時30分~午前11時00分		
視察先・概要	福島県いわき市 人口: 326,195人 面積: 1231.35 km ² 特記事項: 中核市 ※人口はH26.7.1現在		
視察内容	東日本大震災を踏まえた水道の取組		
選定理由	東日本大震災により、水道管を中心に甚大な被害を受け、その経験と教訓を踏まえ、大規模災害にも適切に対応できるよう非常時の対応の強化を図り、災害に強い水道の構築を推進している。本市においても、南海トラフ地震の被害予測が公表され、対応を迫られる中で、実際に災害を経験し、それを踏まえた取組を進めているいわき市を視察することは、意義がある。		
豊田市の現状と課題	老朽化による更新需要や東日本大震災から学ぶ危機管理など災害に強いライフラインを確保するため、新水道ビジョン、水道事業経営計画や水道施設耐震化プランを本年度から策定や修正を開始している。また、業務継続計画（BCP）を平成26年3月に策定し、今後は、それに基づいた訓練や職員の意識向上が課題である。		
視察概要	<p>実際に災害を経験し、それを踏まえた取組を視察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の被害状況 ・余震の中でも推進した取組 ・幹線管路の耐震化 ・老朽管更新への対応 ・職員の健康管理 ・応援者の受け入れ態勢 ・応急給水活動の地域との連携 		
評価とその理由	<p>震災・余震のなかで、水道施設は水道管を中心に甚大な被害を受け、市内全域で大規模な断水が2度発生しても、市民生活を第一に考え、職員は休まず、復旧に専念したことは、評価できる。被災後、12日目から復旧計画をホームページで公表することで、市民からの不安の声を減らすとともに、復旧作業に力を注ぐことができた。</p> <p>そこで得た災害に強い水道の構築を身をもって覚え、実行したことは素晴らしい。</p>		
本市に反映できること	<p>大災害時には、マニュアル通りにはいかないということ。そのとき、復旧の順序、応急給水、勤務体制など日頃の訓練が大切である。</p> <p>今一度、現場体制の見直しや部署を超えた連携の強化を図るべき。想像以上の断水したときの対処の仕方を現場から学ぶことも必要と考える。</p> <p>被災を想定したマニュアル作成が必要。</p> <p>災害時における給水体制に時間がかかるため個人の備蓄が必要。</p> <p>幹線管路の耐震化、老朽管更新への対応の計画と国と県の補助は参考となる。</p>		
その他 (意見・課題など)	4月11日に起きた余震により、2度目の断水に陥ったときの「心が折れそうになった」という職員の言葉を聞き、並々ならぬ苦労がうかがえた。		

千葉県千葉市
ちば消防共同指令センター



栃木県宇都宮市
宇都宮市役所



宮城県いわき市
いわき市水道局

